



ひろしま論

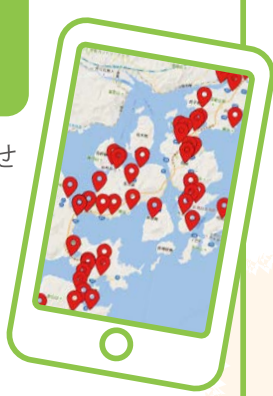
平和への取り組み、マツダ、宇宙の話からアストラムライン、そして活躍する卒業生の話まで、広島をキーワードに幅広いテーマを設定したオムニバス形式の授業です。
広島の歴史、行政、経済、産業、スポーツ、美術、デザインなど、広島に関するさまざまな話を各界の専門家から聞くことができます。

広島の観光学

観光に関する地域でのさまざまな取り組みや知恵・工夫などについて、最新の事例も交えながら、写真などを使って解説する授業です。
観光の効果や、観光を支える仕組みなどの基礎知識を修得しながら、観光を生み出す地域のエネルギーに「気付く」ことを重視しています。

観光情報学

観光学と情報科学を組み合わせた新しい学問分野の授業です。
ケーススタディとして、本学が構築しているユニークな観光関連データベースについても学ぶことができます。



各学部ごとに専門科目が開設されています

国際学部
平和研究Ⅰ・Ⅱ 地域再生論 HIROSHIMA and PEACE

情報科学部
観光情報学 地域実践演習

芸術学部
アートマネージメント概論 地域実践演習

広島からの平和学：実践の方法

～平和について何かしたければ、実際に活動している人たちから学ぼう！～

平和を学ぶには、いろいろな方法があります。そして、広島にいるからこそ学べる「平和」があります。
この授業では、主に大学の外の「現場」で実践的に学ぶことを重視しています。
学生だけでなく、広島平和文化センター主催の市民向け講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」の参加者とともに、意見交換やフィールドワークをしたり、実際に平和活動をしている方々から話を伺ったりしながら学びます。



平和インターンシップ

～体験することで、あなただけの「本当の」知識が身に付く～

「情報」は知っていても、実際に体験することで、自分なりに「本当に」分かることがあります。
「平和インターンシップ」では、広島平和記念資料館、広島市郷土資料館、広島市現代美術館、広島城、新聞社など、広島市周辺のさまざまな施設・史跡などを巡ります。
それぞれの施設などには行ったことがあっても、それらに関連付けて体系的に理解することは、個人ではなかなかできません。
また、それぞれの専門家から直接話を聞くことで、より学びを深めることができます。



広島市立大学には「ヒロシマ・ひろしま」を学ぶ科目が充実しています！

全学共通系科目としては、「広島の観光学」「ひろしま論」「広島の産業と技術」「地域課題演習」が広島科目（※1）、「平和と人権A（ヒロシマと国際平和）」「平和と人権B（現代世界と人権）」「広島からの平和学：実践の方法」「平和インターンシップ」「国際化時代の平和」（2017年度から開講）が平和科目（※2）として、開設されています。

また、本学では、地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いてその発展に貢献する人材の育成を目指し、「地域貢献特定プログラム」を導入しています。
このプログラムの所定の科目を履修した学生をプログラム修了者として認定するとともに、地域貢献に関するテーマで卒業論文・研究・制作を行い、その単位を取得した学生には、「ひろしま地域リーダー」の称号を授与します。

（※1）「広島科目」は広島と周辺地域の歴史や文化・産業などを学ぶとともに、地域課題へのアプローチを幅広く学ぶことを目的とした授業科目
（※2）「平和科目」は被爆体験を若い世代に継承するとともに、平和と人権について多面的に学ぶことを目的とした授業科目

特集 いちだいで学べる ヒロシマ・ひろしま・広島

「広島」の課題解決に貢献しよう！

あなたにとって、「広島」といえば、どんなイメージですか？ 人それぞれ、十人十色の「広島」があると思います。
そして、それらを表すかのように、他にもいろいろな表記があります。「ヒロシマ」「ひろしま」「Hiroshima」などなど。
この特集では、世界の人々が「平和の象徴」と認める「ヒロシマ」はカタカナで、地域性を表す場合は「ひろしま」とひらがなで表記しています（授業名は例外）。

国際平和文化都市を都市像とする広島市が設置した本学では、その使命から、「ヒロシマ」や「ひろしま」を学ぶ科目が充実しています。
学んでいくうちに、「自分の言葉で『ヒロシマ』のことについて話せるようになりたい」「『ひろしま』というまちをもっと知りたい」「地域のことも世界のことも平和のことも、学ぶのは自分次第」といった想いを抱くようになった学生たちもいます。「ヒロシマ」の歴史と、今現在の「ひろしま」のまちは、平和でつながっているのです。
広島市立大学で学ぶことで、ひとりひとりにとってのその時点での「ヒロシマ」「ひろしま」が見つかるはず。まだまだあなたの知らない「広島」について、一緒に学び続けていきましょう！

地域課題演習

～さまざまなテーマの地域課題解決を目指す～

10人程度のグループを編成し、フィールドワークをする実践的な授業です。
（例：大久野島で島の景観やウサギなどをドローンと全天球カメラで撮影して観光用映像を編集・発信する、基町高層アパート・広島城・おりづるタワー・平和記念公園などを巡る基町・中島町ツアー、歴史を学びながら課題を発見する尾道の空き家再生プロジェクトやアーティスト・イン・レジデンスなどのクリエイティブな地域再生プロジェクトについて現地学習するなど）



2016年度 芸術学部デザイン工芸学科 卒業
中西 紗菜
「寂寥」（金属造形）
（W370×D630×H1600 mm）
2016年度 卒業制作
卒業制作優秀作品、芸術資料館買上作品

